

何ものにも代え難い経験

看護福祉学部 福祉マネジメント学科 2年

私はこの夏、カナダで三週間過ごすことで、日本では経験できない多くのことを経験することができました。カナダでの授業は、クラスごとに分かれていましたが、私のクラスの先生はとてもフレンドリーで、ジェスチャーなどを使いながら授業をしてくれるため、とても分かりやすく、楽しく授業を受けることができました。また、プレゼンテーションが多いクラスで大変だったこともありましたが、ほかの大学の友達とグループワークを通して、話し合い、プレゼン資料を作り上げていくことができ、達成感を感じることができました。午後の活動では、いくつかの公園に行き、他大学の人たちとミッションをクリアしたり、触れ合ったり、ラザフォード・ハウスに行き、アルバータ州の初代大統領について学ぶことができたり、沢山の貴重な経験をすることができました。

ホームステイでは、会話がうまくできるのか、心配でしたが、ホストファミリーはとてもやさしく迎えてくれました。会話も私が分かりやすいように簡潔に話してくれたり、ゆっくり話してくれたり、私の要望にもできる限り応えようとしてくれたりと、とても親切で、有意義な時間を過ごすことができました。

沢山の貴重な経験をしましたが、その中でも一番印象に残っているのは Banff で過ごした二泊三日のツアーです。私たちは、都合により、予定していたスケジュールと少しずれてしまうことがありましたが、そのおかげで通常より多くの湖を見ることができました。湖はルイーズ湖、ミネワカ湖、スプレー湖に行きましたが、どの湖もエメラルドグリーンをしたきれいな湖ばかりで、とても心を打たれました。Banff の自然はとても壮大でどこを見ても景色がきれいで、この三日間はカナダの自然を存分に感じる事ができた貴重な経験でした。

そしてこれらの出来事を通して、一番強く感じたのはカナダの人々の親切さと心の広さです。お店でドリンクのもらい方が分からずに困っていると、それに気づいてやり方を教えてくれたり、目が合うだけで微笑んでくれたり、どんな小さな出来事にも「ありがとう」「どういたしまして」を忘れずに交わしている場面を多く見て、とても温かみを感じました。今回の語学研修は、私にとって、自分自身が成長することができたとても貴重な経験となり、それと同時に参加してよかったなと感じています。